

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
II 「彩りあるまち」の実現																		
都市ブランドの確立(ポジティブな情報発信による北九州市のイメージアップ)	1	情報発信強化事業	本市の情報を市民へ正確に迅速かつ分かりやすく、より効果的に届けるため、SNSやLINEなどを活用した情報発信を強化する。	●	●	広報戦略課	市公式LINEの友だち登録者数	81,343人	R5	90,000人	100,000人						43,249	19,206
	2	シティプロモーション推進事業	テレビ、雑誌、SNSなど多種多様なメディアを活用して北九州市のポテンシャルやまちの魅力などポジティブなイメージを広く発信する。	●	●	広報戦略課	北九州市が好きだと答えた(肯定的な回答をした)市民の割合	87.0%	R5	90.0%	90.0%						71,037	82,914

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

危機管理室

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
Ⅲ「安らぐまち」の実現																		
自助・共助・公助による防災力のさらなる強化	1	大規模災害に備えた備蓄整備事業 (R6) 災害に備えた備蓄整備強化事業 (R7)	「福岡県地震に関する防災アセスメント調査」による本市最大避難者数(約22,000人)の想定を基に、非常用食料、非常用飲料水、要配慮者用の生活物資等を、市内で計画的に備蓄整備する。	●	●	危機管理課	備蓄品の適切な整備	食料 198,000食 飲料水 6,600ℓ ミルク 2,400食	R5	食料 198,000食 飲料水 6,600ℓ ミルク 2,400食	食料 198,000食 飲料水 6,600ℓ ミルク 2,400食						19,263	19,000
	2	地域と連携した避難所開設・運営事業	迅速な避難所の開設や地域防災力の向上等のため、市と地域住民が連携し避難所の開設・運営を行う。	●	●	危機管理課	参画するまちづくり協議会数の増加	35校区	R5	40校区	45校区						7,600	7,600
	3	市総合防災訓練 (R6) 創ろう！北九州防災トレーニング (R7)	近年、大規模化、激甚化が進む災害に対応するため、災害シミュレーションの検討を行い、より実践的で効果のある訓練を実施する。	●	●	危機管理課	「実際に災害が起きても対応できる・概ね対応できる」と回答した人の割合の上昇(訓練実施後にアンケート)	77.0%	R5	80.0%	80.0%						6,000	9,000
	4	個別避難計画作成促進事業	災害発生時等に自力で避難することができない避難行動要支援者(高齢者や障害者等)の個別避難計画を、福祉専門職と連携して作成する。	●	●	危機管理課	個別避難計画作成率	37.0%	R3	65.0%	75.0%						4,900	4,900

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
II 「彩りあるまち」の実現																		
DXによる市民サービス向上	1	スマらく区役所サービスプロジェクト	行政手続きにかかる時間をできる限り短縮し、快適・便利な行政サービスを提供するため、手続きのオンライン化促進など、デジタル技術を活用した新たな窓口サービスの構築をフロントヤードからバックヤードまで総合的に進める。	●	●	DX推進課	オンライン申請率の向上	24.0%	R4	45.0%	50.0%	集約する窓口業務に従事している職員の作業時間の削減	—	—	対象業務の窓口職員作業時間 ▲50.0%	対象業務の窓口職員作業時間 ▲50.0%	287,583	448,555

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
Ⅲ「安らぐまち」の実現																		
インフラDXの推進による市内建設業の生産性向上および人材育成	1	i-Construction推進事業	建設現場でICTを活用し、建設業の生産性を向上する「i-Construction」の推進・普及拡大を目指す。 地元建設業等と連携して、新技術等に関する研修の実施など、受発注者の技術力向上を図り、建設業界全体の働き方改革の実現、魅力の向上につなげる。	●	●	技術企画課	「i-Construction」に関する体験会、技術研修参加者の満足度の向上 (R7年度から統一書式にてアンケートを実施)	—	—	—	70.0%						300	500
	2	公共工事関係部署における「しごと改革」推進事業	「公共工事関係部署のDX推進プラン」に基づき、市役所の工事関係部署の「しごと改革」を推進する。 また、公共工事に携わる市内建設業者の利便性向上を図り、「新・担い手3法」が目指す建設業の「働き方改革」を推進する。	●	●	技術企画課	庁内工事情報共有システムの利用率の増加	25.0%	R4	50.0%	80.0%						1,794	1,794

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
I 「稼げるまち」の実現																		
メガリージョンの視点による近隣市町との連携	1	メガリージョン推進事業	メガリージョンの視点で、北部九州地域の一体的な発展を目指すため、福岡市や下関市、連携中枢都市圏とのトップ会議の開催や、自治体間の連携事業の推進・拡大に向けた調査・検討を実施する。	●	●	政策課	北九州都市圏内の宿泊者数	2,338千人	R1	2,268千人	2,923千人	関門エリアの観光消費額の増加	646.8億円	R3	2,230.3億円	2,758.2億円	15,970	13,064
若者のチャレンジ支援	2	シン・ジダイ創造事業(若者のチャレンジ応援)	若者の自由な発想や提案を引き出し、それらを実現させるための教育や伴走支援等を行い、地域一体で「日本一若者を応援するまち・北九州市」の実現を目指す。	●	●	Z世代課	北九州市の最近のイメージで「活躍する若者をよく目にするようになった」と答えた人の割合	R6年度市民意識調査の結果をもとて設定	—	—	調整中						50,000	43,000
女性のキャリア形成支援	3	女性の視点を生かした都市課題解決推進事業	女性の視点を生かして都市課題の発見・解決を図るとともに、取組を通じて次世代の女性リーダーを育成するため、市政へのアイデア提言プロジェクト「Woman Will 北九州」を運営・実施する。	●	●	政策課	市政への課題提言数	—	—	5件		市政へのアイデア提言数	—	—		10件	5,000	10,000
戦略的国際連携の推進	4	海外プロモーション促進事業	新たな都市間連携に向けたトップセールスや姉妹友好都市との関係性を活用した海外プロモーションを実施する。		●	国際政策課	姉妹友好都市以外の都市や地域との連携基盤構築	—	—		1つ以上							20,500
II 「彩りあるまち」の実現																		
都市ブランドの確立(ポジティブな情報発信による北九州市のイメージアップ)	5	外国人材の受入れ環境整備事業	これまでの防災・減災対策や多文化共生の意識醸成に加え、外国人向け多言語ホームページの開設や、(仮称)多文化共生ロードマップの策定など、魅力ある地域づくりを推進する。		●	国際政策課	市民の「多文化共生」という言葉の認知度	59.5%	R5		63.0%	「暮らしやすい」と回答した人の割合(外国人市民アンケート:1回/5年)	72.4%	R5		—		79,495
III 「安らぐまち」の実現																		
外国人との共生社会の実現に向けた環境整備	6	外国人材の受入れ環境整備事業	これまでの防災・減災対策や多文化共生の意識醸成に加え、外国人向け多言語ホームページの開設や、(仮称)多文化共生ロードマップの策定など、魅力ある地域づくりを推進する。		●	国際政策課	市民の「多文化共生」という言葉の認知度	59.5%	R5		63.0%	「暮らしやすい」と回答した人の割合(外国人市民アンケート:1回/5年)	72.4%	R5		—		79,495
外国人との共生社会の実現に向けた環境整備	7	外国人との共生社会推進事業	外国人市民が地域の一員として本市に定着し社会の活力となることを目指し、北九州国際交流協会とともに、多言語での相談体制整備や生活情報の提供など暮らしやすい生活環境づくりを行う。また、多文化共生の意識醸成に向けた事業を実施し、国籍に関わらず誰にとっても魅力ある地域づくりを進める。	●		国際政策課	市民の「多文化共生」という言葉の認知度	59.5%	R5	62.0%		「暮らしやすい」と回答した人の割合(外国人市民アンケート:1回/5年)	72.4%	R5		—	65,821	

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
I 「稼げるまち」の実現																		
女性が働き続けることができる就労環境の整備の支援	1	ワーク・ライフ・バランス推進事業	多様な働き方や暮らし方を選択でき、活力ある豊かな社会の実現を目指して、企業等の取組の支援や、広報・啓発などワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進を図る。また、「働きやすいまち北九州」の実現を目指し、北九州イクボス同盟の拡大や取組支援等を行う。	●	●	女性の働く社会推進室	「仕事と生活の調和（ワークライフバランス）」が取れていると思う人の割合	62.8%	R5	R5年度比増加	R5年度比増加						4,359	2,250
II 「彩りあるまち」の実現																		
DXによる市民サービス向上	2	証明書コンビニ交付サービス維持管理事業	マイナンバーカードを活用した証明書コンビニ交付サービスを実施する。	●	●	区政推進課	コンビニ交付対象証明書に占めるコンビニ交付の利用率の向上	50.0%	R5	47.0%	50.0%						59,052	57,352
III 「安らぐまち」の実現																		
防犯カメラや防犯灯の増設やAIなどの技術を取り入れた防犯対策の更なる推進	3	防犯カメラ運用事業	安全・安心な市民生活を確保し、犯罪に強い都市づくりを推進するため、街頭防犯カメラの設置、運用を行う。	●	●	安全・安心推進課	刑法犯認知件数	6,044件	R5	R5年度比減	R6年度比減						39,464	57,740
	4	防犯灯設置事業	安心して生活できるまちづくりの推進の一環として、夜間における犯罪の発生を防止し公衆の通行の安全を図るため、LED防犯灯を設置する。	●	●	安全・安心推進課	刑法犯認知件数	6,044件	R5	R5年度比減	R6年度比減						26,057	21,800
暴力団対策の強化、市外発信による「安全・安心なまち」のイメージ定着	5	暴力団放逐推進・支援等事業	市民、企業、団体等が暴力団排除の認識を深め、暴力団排除活動に取り組むことができるよう広報啓発及び支援を行っていく。また、福岡県警や（公財）福岡県暴力団放逐運動推進センター、北九州暴力団放逐推進会議、各区防犯協会等とも連携を図り、暴力団排除並びに地域防犯活動を推進することで、安全・安心なまちづくりを進めていく。	●	●	安全・安心推進課	暴追対策に対して評価した市民の割合の増加（行政評価市民アンケート）	48.0%	H25	R5年度比増（R5：81.4%）	R6年度比増						10,100	10,100
	6	若者の犯罪行為への加担防止啓発事業	若者が「闇バイト」等の犯罪行為に加担することを防止するため、市内でウェブを閲覧する若者を対象としたターゲティング広告やホームページ等で広報啓発を行う。	●	●	安全・安心推進課	暴追対策に対して評価した市民の割合の増加（行政評価市民アンケート）	48.0%	H25	R5年度比増（R5：81.4%）	R6年度比増						1,500	900
ソーシャル・キャピタル（地域における繋がり）の強化	7	地域総括補助金	地域が一体となった地域づくりを促進するため、市各部署が事業ごとに地域団体に交付していた補助金を一本化し、まちづくり協議会に交付する。さらなる課題に対応するため、地域総括補助金の全14事業のうち、6事業を一括して交付する「(仮)地域コミュニティ交付金」を創設、令和7～8年度にモデル校区で導入し、本格実施にあたっての課題整理等を行う。	●	●	地域振興課	地域総括補助金を導入したまちづくり協議会の数	130団体	H26	137団体	137団体	交付金制度を導入したまちづくり協議会の数	—	—	(R7年度制度開始予定)	2団体	269,870	270,700
	8	市民センター管理運営・整備事業	市民（サブ）センター136館の管理運営・整備を行い、市民センターを拠点とした地域づくりを推進する。	●	●	地域振興課	若者・現役世代の利用率の増加	R6年度のアンケート結果をもって設定	R6	—	調整中						2,129,365	2,423,778

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

総務市民局

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
地域活動の抜本的な見直しによる活性化	9	多世代が参加・交流できる自治会活動支援事業(R6)協働による地域の活性化支援事業(R7)	持続可能な地域コミュニティづくりを進めるため、子育て世代等が参加・交流できる運営や新たな住民ニーズに応える活動に取り組む自治会を支援するとともに、大学生やNPO等、新たな担い手の参画の仕組みづくりに取り組む。	●	●	地域振興課	地域づくり活動への参加割合の増加	39.6%	H29	50.0%	50.0%						8,500	5,380
	10	全世代参加型地域コミュニティ推進事業	2040年の社会情勢等を踏まえた新たな地域コミュニティの在り方について、有識者等から意見を聴取する「(仮称)地域コミュニティビジョン検討会議」を開催し、検討会議での意見を基に、「(仮称)北九州市地域コミュニティビジョン」を策定する。		●	地域振興課	地域コミュニティビジョンの策定	—	—		策定							28,000

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額 (千円)	R7予算額 (千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
Ⅲ「安らぐまち」の実現																		
公共施設マネジメントの推進	1	公共施設マネジメント推進事業	公共施設を取り巻く様々な環境の変化や老朽化の進行を踏まえ、公共施設マネジメント実行計画に基づき、公民連携による建替えや運営改善により、利便性や魅力を向上し、新たな価値を創出するなど公共施設の最適化に向けた取組を推進する。	●	●	市政変革推進室	持続可能な公共施設の維持・管理	—	—	—	—						11,410	4,938

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
I 「稼げるまち」の実現																		
介護離職の減少に向けた介護サービスの充実	1	介護サービス等給付費(在宅サービスの提供)	高齢者が支援や介護が必要になっても、住み慣れた地域で日常生活を営むことができるよう、訪問介護・通所介護などの在宅サービス・地域密着型サービスの提供を行う。	●	●	介護保険課	在宅サービスの利用人数	35,392人	R5	36,902人	37,276人						51,740,773	52,252,387
	2	先進的介護「北九州モデル」推進事業	介護現場の働き方改革を推進するため、ICT・介護ロボット等を活用した業務改善手法「北九州モデル」の市内介護施設への普及を図り、先進的介護の実効性を高める。 また、介護助手活用モデルの社会実装による先進的介護の深化・拡充に取り組むとともに、在宅版「北九州モデル」の構築を推進する。	●	●	先進的介護システム推進室	介護ロボット等導入施設数	117件	R4	140件	180件						57,300	46,250
多様な人材(高齢者、外国人)の活用による人材確保	3	外国人介護人材育成支援	外国人介護人材の介護福祉士の資格取得やスキルの向上を支援し、介護の質の向上を図るとともに、介護分野への外国人の就労・定着を促進する。	●	●	介護保険課	介護福祉士合格率	—	—	30.0%	40.0%						2,500	2,500
市内企業における「健康経営」の意識の拡大	4	地域・職域連携の推進	就労世代の健康づくりや事業所における健康経営を推進するため、「地域保健」と「職域保健」を推進する団体で設置した会議において、市域の健康課題やそれぞれの取組を共有し、効果的・効率的な官民協働の取組を進める。	●	●	健康推進課	健康経営を推進する市内企業等の増加	1,464事業所	R5	1,550事業所	1,750事業所						2,000	8,000
II 「彩りあるまち」の実現																		
彩りある文化・芸術によるにぎわいの推進	5	障害者文化芸術活動等推進事業	障害者の文化芸術活動の振興を図るため、作品展等障害者の文化芸術活動の発表の場を設けるとともに、障害者の創意意欲を助長するための必要な支援を行う。 また、とかく家に閉じこもりがちでサービスを受ける立場になりがちな障害者が、地域社会へ一歩踏み出し、社会の一員として自立するためのさまざまな支援事業を行う。	●	●	障害福祉企画課	障害者芸術祭への作品出展数	268点	R5	280点	290点	障害者芸術祭来場者数	1,200人	R5	1,200人	1,200人	8,100	8,355
スポーツによるにぎわいづくり	6	障害者スポーツ振興事業	スポーツを通じて障害のある人の体力の維持・向上や、機能回復等を図るとともに、社会参加を促進するため、市内の障害者スポーツ大会開催、障害者のためのスポーツ教室や水泳教室の開催に必要な支援を行う。	●	●	障害福祉企画課	障害者スポーツ教室参加者数	1,033人	R5	1,100人	1,100人	障害者スポーツ教室新規参加者数	233人	R5	250人	250人	51,760	51,791
III 「安らぐまち」の実現																		
人権文化のまちづくり	7	市民への人権啓発の推進	「人権文化のまちづくり」の実現に向けて、様々な手法を活用し、幅広く市民への人権啓発を推進する。	●	●	人権文化推進課	「人権尊重意識の5～6年前との比較が高まっている」と回答した割合(人権問題に関する市民意識調査)	19.7%	R2	—	19.7%以上						74,528	81,093
地域包括ケアシステムの深化・推進	8	生活支援体制整備事業	地域福祉活動の基盤を整備するため、地域支援コーディネーターを各区に配置することなどにより、住民主体による地域の支え合い活動の計画づくりを支援する。 地域特有の課題と資源を踏まえ、助け合い活動、買い物支援、高齢者サロン等の新たな社会サービスの創出を図る。	●	●	地域福祉推進課	小地域福祉活動計画の策定校(地)区数	95箇所	R4	115箇所	145箇所						116,000	116,388
	9	地域包括支援センターの運営	地域包括ケアシステムの構築を進めるため、総合相談や権利擁護、包括的支援、介護予防ケアマネジメント等の機能を担う、市内24の地域包括支援センターと、7の統括支援センターを設置、運営する。	●	●	地域福祉推進課	地域包括支援センターの認知度(高齢者等実態調査：3年毎)	47.1%	R4	—	前回調査値の向上						858,500	675,109
	10	地域リハビリテーション支援体制推進事業	高齢者や障害のある人、その家族が住み慣れたところでその人らしくいきいきとした生活ができるよう、地域リハビリテーション支援拠点を設置するとともに、医療機関や介護サービス事業所等の協力を得て、身近な地域でリハビリテーションに関する相談や支援が受けられる体制を構築する。	●	●	地域リハビリテーション推進課	支援センターへの相談件数	403件	R5	550件	600件	地域ケア個別会議や高齢者サロン等の地域活動の回数	498回	R5	550回	600回	35,700	36,500

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
	11	介護実習・普及センター(テクノケア北九州)運営事業関連	福祉用具及び介護テクノロジー機器の展示、専門相談支援、情報発信を行うとともに、市民・支援者に対する介護実習や研修を実施する。		●	地域リハビリテーション推進課	利用者満足度	99.0%	R5		100.0%							70,808
	12	認知症にやさしいまちづくり事業	認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを推進する。	●	●	認知症支援・介護予防課	認知症と聞いて、家族に迷惑をかけそうで心配である人の割合(北九州市高齢者等実態調査)	53.9%	R4	—	R4年度比減少	認知症になっても自宅で生活を続けられるか心配である人の割合(北九州市高齢者等実態調査)	42.2%	R4	—	R4年度比減少	65,320	59,960
	13	介護サービス等給付費(在宅サービスの提供)	高齢者が支援や介護が必要になっても、住み慣れた地域で日常生活を営むことができるよう、訪問介護・通所介護などの在宅サービス・地域密着型サービスの提供を行う。	●	●	介護保険課	在宅サービスの利用人数	35,392人	R5	36,902人	37,276人						51,740,773	52,252,387
	14	在宅医療の普及促進	患者の希望に沿った在宅医療サービスの提供がなされるよう、在宅医療の環境整備を推進する。	●	●	地域医療課	在宅療養支援病院・診療所数	191か所	R5	R5年度比増	R6年度比増						97,500	99,000
支え合いのネットワークづくり(地域共生のまちづくり)	15	いのちをつなぐネットワーク事業(R6) 包括的な支援体制の構築(R7)	単身高齢者などの支援を必要としている人が社会的に孤立しないよう、住民、企業、行政等の地域全体で見守りを行う「いのちをつなぐネットワーク」を推進する。	●	●	地域福祉推進課	いのちをつなぐネットワーク協力会員の団体数の増加	86企業・団体	R5	R5年度比増	R6年度比増						20,500	52,500
	16	福祉ボランティア活動の推進	北九州市社会福祉協議会が行うボランティアの活動推進事業に対する補助事業。ボランティア・市民活動センターにおいて、目的や対象に応じた講座の実施や、ボランティアコーディネーター、ボランティア団体の活動支援、関係機関との連携による情報収集・発信等を行う。	●	●	地域福祉推進課	ボランティアコーディネーターの件数	4,386件	R4	年間5,100件	年間5,100件						50,600	49,720
	17	認知症にやさしいまちづくり事業	認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを推進する。	●	●	認知症支援・介護予防課	認知症と聞いて、家族に迷惑をかけそうで心配である人の割合(北九州市高齢者等実態調査)	53.9%	R4	—	R4年度比減少	認知症になっても自宅で生活を続けられるか心配である人の割合(北九州市高齢者等実態調査)	42.2%	R4	—	R4年度比減少	65,320	59,960
介護サービスの質・生産性の向上	18	介護シェアリング都市推進事業	北九州市が高齢化大都市のフロントランナーとして、介護業界に携わる関係人口を増やし、あらゆるリソースを動員して介護サービスを支える仕組みを構築する「介護シェアリング都市」の実現を目指し、介護人材確保に繋がる様々な施策を展開する。	●	●	介護保険課	スクーター参加事業所数	—	—	10事業所	30事業所						12,400	21,400
	19	先進的介護「北九州モデル」推進事業	介護現場の働き方改革を推進するため、ICT・介護ロボット等を活用した業務改善手法「北九州モデル」の市内介護施設への普及を図り、先進的介護の実効性を高める。また、介護助手活用モデルの社会実装による先進的介護の深化・拡充に取り組むとともに、在宅版「北九州モデル」の構築を推進する。	●	●	先進的介護システム推進室	介護ロボット等導入施設数	117件	R4	140件	180件						57,300	46,250

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
医療提供体制の維持・確保、在宅医療の普及・促進	20	救急医療体制の維持・確保	夜間や休日における救急医療体制を維持・確保する。	●	●	地域医療課 夜間・休日急患センター第2夜間・休日急患センター	救急医療体制の維持	—	—	—	—						1,133,404	1,209,607
	21	総合周産期母子医療センター、小児救急・小児総合医療センターの運営	【総合周産期母子医療センター(市立医療センター内)】 ・出生前から出産後まで母子に対する専門的な医療を24時間体制で提供する。 【小児救急・小児総合医療センター(市立八幡病院に併設)】 ・1次(初療)から3次(重篤)までの救急医療を24時間体制で提供する。	●	●	地域医療課	医療体制の確保・充実	—	—	—	—						1,088,554	1,060,755
	22	在宅医療の普及促進	患者の希望に沿った在宅医療サービスの提供がなされるよう、地域の専門職の参画促進や訪問看護の充実強化等、在宅医療の環境整備を推進する。	●	●	地域医療課	在宅療養支援病院・診療所数	191か所	R5	R5年度比増	R6年度比増						97,500	99,000
	23	精神保健夜間休日救急体制の整備・確保	夜間・休日の精神医療相談窓口を設置し、精神障害のある人及び家族等からの相談に対応する。 福岡県と政令市(福岡市、北九州市)が共同で夜間・休日の精神科緊急・救急医療体制(24時間365日)を整備する。	●	●	精神保健・地域移行推進課	精神障害のある人及び家族等からの相談に対する問題解決率(適切な情報提供及び助言)95%以上	94.0%	R5	94.0%	95.0%						35,300	36,742
ソーシャル・キャピタル(地域における繋がり)の強化	24	新たなつながりによる支え合い(ソーシャルキャピタル)創出事業	地域活動の担い手が減少する中、若い世代やNPO団体などと地域活動との橋渡しを行い、社会全体の新たな形でのつながり(ソーシャルキャピタル)を創出する。	●		地域福祉推進課	関係団体との連携により、地域課題が解決した地域団体	—	—	2団体							3,000	
	25	チャレンジ!コネクタクション	校(地)区社会福祉協議会等の既存の地域団体が自分たちの力だけでは解決できない課題に対し、NPO団体等のテーマ性や専門性を持った団体と連携して、「ゆるやかなつながりが地域課題を解決する」仕組みの構築を図る。		●	地域福祉推進課	関係団体との連携により、地域課題が解決した地域団体	—	—		2団体							2,000
健康寿命の延伸・健康格差の縮小	26	地域・職域連携の推進	就労世代の健康づくりや事業所における健康経営を推進するため、「地域保健」と「職域保健」を推進する団体で設置した会議において、市域の健康課題やそれぞれの取組を共有し、効果的・効率的な官民協働の取組を進める。	●	●	健康推進課	健康経営を推進する市内企業等の増加	1,464事業所	R5	1,550事業所	1,750事業所						2,000	8,000
	27	各種健診(検診)の実施	生活習慣病の予防等のため、特定健診やがん検診等の実施、及び各種健診(検診)の受診促進を行う。	●	●	健康推進課	メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の減少	34.9%	R4	34.6%	34.2%	がんの年齢調整死亡率(10万人あたり)の減少	男性:444.7 女性:205.2	R2	—	R2年度比減少	1,312,381	1,308,682
	28	オーラルヘルスの推進	歯科疾患の予防等のため、生涯を通じた歯科健(検)診等を実施する。	●	●	健康推進課	3歳児でむし歯のない者の割合の増加	87.7%	R4	89.7%	90.5%	かかりつけ歯科医がいる者の割合の増加(40~64歳)	69.0%	R4	—	—	108,691	106,001

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
高齢者の社会参加の推進	29	地域介護予防活動実践者支援事業	市民が身近な地域で健康づくりや介護予防に取り組めるよう、「きたきゅう体操」「ひまわり太極拳(タイチー)」「公園で運動教室」等の普及教室を開催する。 また、地域におけるリーダー(普及員)の育成・支援を行い、自主化・継続化を推進する。	●	●	認知症支援・介護予防課	通いの場に参加した人の割合(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)	19.3%	R4	23.0%	23.0%					33,500	30,080	
	30	高齢者地域人材育成の推進	年長者研修大学校(同望学舎・穴生学舎)及び北九州穴生ドーム、並びに生涯現役夢追塾の運営や、高齢者の社会参加を促進する情報の総合的な収集・提供、マッチング、相談対応を行う「いきがい活動ステーション」の運営などを通して、地域で活躍する高齢者人材を育む。 あわせて、既存事業のあり方を見直し、地域活動・就業・生涯学習の推進など横断的な生涯現役応援の仕組みづくりに着手する。	●	●	長寿社会対策課	地域活動について、「行っている」と回答した人の割合の増加(年長大利用者アンケート)	42.0%	R5	45.0%	46.0%					204,909	228,728	
障害のある人の社会参加の推進	31	障害者文化芸術活動等推進事業	障害者の文化芸術活動の振興を図るため、作品展等障害者の文化芸術活動の発表の場を設けるとともに、障害者の創意意欲を助長するための必要な支援を行う。 また、とかく家に閉じこもりがちでサービスを受ける立場になりがちな障害者が、地域社会へ一歩踏み出し、社会の一員として自立するためのさまざまな支援事業を行う。	●	●	障害福祉企画課	障害者芸術祭への作品出展数	268点	R5	280点	290点	障害者芸術祭来場者数	1,200人	R5	1,200人	1,200人	8,100	8,355
	32	障害者スポーツ振興事業	スポーツを通じて障害のある人の体力の維持・向上や、機能回復等を図るとともに、社会参加を促進するため、市内の障害者スポーツ大会開催、障害者のためのスポーツ教室や水泳教室の開催に必要な支援を行う。	●	●	障害福祉企画課	障害者スポーツ教室参加者数	1,033人	R5	1,100人	1,100人	障害者スポーツ教室新規参加者数	233人	R5	250人	250人	51,760	51,791

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。